

小中一貫特認校制度を導入 —福富小学校・中学校で令和5年度スタート—

東広島市立福富小・中学校



学校教育目標

夢と志をもち 今を大切に生きる児童・生徒の育成

東広島市初の施設一体型小中一貫校として開校した福富小・中学校は、令和5年4月1日より小中一貫特認校として新たにスタートします。

小中一貫特認校設置の目的

小中一貫校では、特色ある教育課程を実施することにより、変化の激しいこれからの時代をたくましく生きる力の育成を目指しています。

こうした小中一貫校で学びたい児童生徒に対して、通学区域を制限せず、市全域からの就学・転学を可能とするものです。

東広島市立福富小・中学校の特色ある取組

～夢と志をもち、今を大切に生きる児童・生徒の育成～

福富小・中学校は、令和3年度に本市初の施設一体型小中一貫校として開校しました。小規模校だからこそ、児童生徒や教職員との関わり合いを大切にし、地域の方々の支えもいただきながら、これからの時代をたくましく生きる力の育成を目指しています。

○小規模校の特性を生かした指導の充実（学力の向上）

少人数であることを生かして、一人一人の児童生徒にきめ細やかな指導を行っています。令和4年度全国学力・学習状況調査では、小・中学校ともに、国及び県の平均を上回っており、児童生徒の学力の向上を図っています。



○異学年交流の促進（コミュニケーション力の育成）

義務教育9年間の学びと育ちをつなぐため、総合的な学習の時間や学校行事等において、異学年交流に取り組んでいます。この交流を通して、児童生徒の社会性の基礎やコミュニケーション力を育成しています。



○探究的な学習の推進（生きる力の育成）

児童生徒が自ら課題を見出し、解決するための探究的な学習に取り組んでいます。福富の地域と連携し、起業された方や地域貢献されている方に学びながら、課題解決に取り組むことで、自己の生き方を考える力を育成しています。



自然豊かな福富で、心豊かな学びを！